

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.188

2021. 5. 31

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227

平和・いのち・人権が大事！

「5・3憲法集会 in いわて」開催



5月3日岩手教育会館に150人が参加。岩手大学教育学部特命教授の麦倉哲さんが、「命の格差を縮められるか？～犠牲と不幸をなくすために憲法は生まれた」と題して講演しました。麦倉さんは、憲法25条と13条が定めている生存権や幸福追求権について解説。そのうえで貧困や格差の拡大を「自己責任」とする風潮が社会にあることを指摘し、「弱者が自立できる制度を作るのが政府のあるべき姿だ」と訴えました。

さらに、東日本大震災の被災者に対し一昨年に実施した調査で、「暮らしが厳しくなった」と答えた人が半数以上にのぼったことを紹介。「戦争や災害で犠牲になった人のことを忘れず、命の格差と向き合い、すべての人が幸福に生きられる



日本を取り戻そう」と呼びかけました。

集会後は、会場周辺でピースパレードを実施。2018年憲法集会 in いわてから歌っている「けんけんぼ」の曲を流しながら、プラカードや風船等を掲げ市民にアピールしました。

当日はYouTubeライブ配信も実施。110人以上が視聴しました。

◇YouTubeで見逃し配信しています

⇒ <https://youtu.be/rvwxqLcN4ig>



「9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」（4月末現在）

岩手の署名数 2万2千筆

※一旦集約します。手元にある署名は、岩手県生協連までお送りください。

改憲発議反対！大学・高校前での宣伝行動実施

—盛岡地域9条の会—



3月2日に予定していた盛岡一高・三高前で卒業式に合わせた宣伝は雨で中止にしましたが、緑が丘地域9条の会が3月3日盛岡誠桜高の卒業式に高松の池口にて「卒業おめでとうございます！」と声をかけながら実施しました。

4月8日は、入学式に合わせて、盛岡三高は松園9条の会（参加5名でチラシ80枚配布）、盛岡誠桜高は緑が丘地域9条の会（参加8名でチラシ200枚配布）が担当し、校門付近で実施しました。

また、4月28日には盛岡地域の9条の会合同で、岩手大学構内で新生対象に宣伝行動を実施。署名は49筆集め、チラシは300枚を配布しました。若い世代に、平和と憲法の大切さを訴えました。



<事務局からのお知らせ>

学習にご活用ください！—九条の会ブックレットのご紹介—

九条の会ブックレット「菅政権の成立と改憲問題の新局面」 —改憲発議阻止のため—



目次 はじめに…小森陽一

I 「バイデン政権の成立と日米軍事同盟の強化」

—第5次アーミテージレポートにもふれて—…布施祐仁

II 「敵基地攻撃能力保有」のいま…前田哲男

質疑応答

学会会議会員任命拒否と反憲法政治…小澤隆一

おわりに…小森陽一

資料編 [2020年12月18日閣議決定]

国民を守るための阻止力向上に関する提言／日米安全保障協議委員会（2+2）共同発表

◆2021年4月1日発行 A5判64頁 1冊500円

◇学習用としてほしい場合は、**1冊400円（送料はこちらで負担します）**でお届けします。岩手県生協連までご連絡ください。

コラム — 台湾は日本との運命共同体である”と、驚きの発言！ —

去る4月16日、菅総理大臣はバイデン米国大統領と首脳会談を行いました。その共同声明では、「台湾海峡の平和と安定は重要」とあり、佐藤・ニクソン会談以来52年ぶりに台湾に言及しました。

米中対立の深まる中、その声明中の「日米同盟の深化」を積極的に図ろうとすることともに、日本国民のなかからその「軍事姿勢」のたかまりに懸念の声が上がっております。これでは台湾を巡る「米中戦争」に、日本は自動的に引き込まれるというものであります。しかも、安政法制の下日本の自衛隊は朝鮮半島周辺、東シナ海や南シナ海で米軍との共同行動を盛んに行っている現状から、これは現実的な懸念であると思えます。

加えて、報道番組出演の大学名誉教授がこの台湾言及について、“台湾は日本との運命共同体である”と解説し、その共同声明を応援しておりました。一瞬、これはひどい発言だと思いました。番組中も報道後も、取り消し発言はありませんでした。

コラム子はその名誉教授の発言に触れ、一瞬戦前の朝鮮や中国「満州」を指して日本が「日本の生命線である」と言っていたのを想起しました。早速中国側のメディアから、「日本は未だに台湾を日本の植民地であると思っているのではないか」と指摘されました。

残念ながらこの共同声明は、米国の行う戦争に日本が加担して行こうとしていることを示していると思わざるを得ません。如何でしょうか。

コロナ禍の中と言え、自民党は国民投票法改正法を成立させ、今度は「憲法本体の議論」を進めようとしております。「憲法改悪反対」の運動は緊迫感をもって進めなければならないと思えます。(T)

6月の街宣活動※荒天中止

10日(木)12:15~13:45

「盛岡市大通・野村證券前」

3密を避け、宣伝行動を中心にしながら、「改憲発議に反対する全国緊急署名」を呼びかけます。

ご都合のつく方は、ご参加ください！

